

王妃様

はじめて物語

〜初めてのお酒〜



登場人物紹介



ディミトリ

ファーガス神聖王国の王。
学生時代は何かとすぐに病んで先生を困らせること風の如しだったが、紆余曲折の末に過去のトラウマを克服することに成功し、更に先生を嫁にすることにも成功した。

そんな彼は学生時代は「品行方正真面目王子」として振る舞っていたと豪語しているが、誰がどう見ても闇の部分がダダ洩れになっていたため、ベレス先生の父親のジェラルトにもかなり警戒されていた。ただし本人はそのことを知らない。

スキル シャイニング・陛下・ブリッツェン

この年の瀬、ディミトリが厳しい修行の末に編み出した技。光速で繰り出される鋭い槍の突きは、分厚い鉄板をも貫くという(本人談)。例によってこの絶技を見た者は殆ど居ない。



ベレス先生

元傭兵にして元教師にして現在は教団の大司教という波乱万丈の経歴を持つ女性。

教師時代は病んだディミトリに振り回されたり暴言を吐かれても決して見捨てることなく祖国解放まで導き、更にその後ディミトリと結婚するという器の大きさをフォドラ全土に見せつけること山の如しだった。大司教という仕事についてはあまりよくわかっていないが、持ち前のカリスマだけでなんとなく許されている。

スキル シャイダー・ブルーフラッシュ

レーザープレートにエネルギーを注入し、横一線に薙いで敵を斬る技。もともとは「宇宙刑事シャイダー」の技。



ジェラルト

『壊刃』という二つ名を持つ凄腕の傭兵。ベレス先生の父親。

なんだかんだで娘に甘く、娘のことを心配して様々なアドバイスをくれていた。ディミトリのことはメチャクチャ警戒していたらしい。

スキル ディミトリ警戒+

娘を困らせること火の如し(だと思われる)青い級長が何かをやらがしたと判断したとき攻撃・速さ+7、ディミトリは反撃不可。

※上記の内容はうちでの設定であり、実際の設定・スキルとは関係ない部分がたっぷりございます。ご了承ください。



おかえり
…何を持って
いるんだ？
ワイン…か？

ああ
貰ったんだが
飲むか？



俺はあまり
飲まないが
ペレスは
飲むのか？

いや実は
飲んだことは
殆ど無いんだ
父の墓にでも
供えるかな…



そうか…
…ジエラルト殿は
酒豪だった
そうだな

…ん
どうした
デイミトリ？



…いや
俺はあの人と
言葉を交わすことは
あまり無かったが

今思えばもっと
話をしてあげば
良かったな
…後悔しても遅いが



ただいまー



ちなみに
ジエラルト殿は
俺のことを何か
お前に言ったり
していたか？

え？
君のこと？
そうだな…



気を付けろよ
…あのガキは腹の中に
ヤバいもん抱えてやがる
…そんな気がするんだ

?
例えば
どんな…?

上手く言えたら
苦労しねえが
何だろなあ…
所謂「闇」ってやつだ



おいベレス
お前の所の
級長のガキだがな



俺は今まで散々
そんな奴を見てきた
あいつはその
ドス黒いものを
持ってやがるぞ

お前の手に
負えないと思ったら
すぐ手を切れ
深入りするなよ

そうね…
深入りはして
いないけど
彼は級長だし
必然的に
接触も多いから

百歩譲って
それは仕方ねえが
あいつは絶対
めんどくせえぞ
気を許すなよ
くれぐれも



よし明日は二人で
ジエラルト殿の
墓参りに行こう
この酒を供えれば
きつと喜んで
くださるぞ

そ…そうだな
…うん…
しかし三本もあるんだ
飲みたかったら君が
飲んでもいいんだぞ…?



…
「いいな」
…って…

そ…そうか!
嫌われているような
気がしていたんだが
杞憂だったのだな!!



「大事なことだから
もう一度言うが
あいつに気を
許すんじゃないぞ」
いいな



そうだな...
できることなら

ジュエルト殿も
交えて一度
飲んでみたかったな
お前の話を着に

私の話...?

きつと
つまらないぞ?

そんなことは
ない

お前に関する
話なら
つまらないことなど
何もないさ



むっ...?
...ということは
あるのか?
初恋の話が...

あるさ
...言うほどの
ことじゃないが

ふふ...懐かしいな
あの頃はいつも
あの人のことを考えて...



まあ折角だ
直接お前に
聞きながら
一杯やろう

では最初は
お前の初恋の
話をしてくれ

君は...

そんなノリで
私がホイホイと
話すと思ったのか...?



少しだけ
俺じゃないかと
期待した
(辞世の句)

変なところだけ
自信満々か君は

あーそうだな
よく考えてみたら
君だった気がするわ
私の初恋は君だ!!



ええーっ!!

倒れるくらいなら
何故その話を
振ったんだ君は!?

無理ッ



待てそんな
いいかげんなこと
納得でき...

が
ホ

.....



んんんんんんんん!?!ん



!?!



う...!?

すまないデイミトリ
だが本当に

話すほどのことじゃ
ないから...



むぐっ

んっ

ゴハッ
ゴハッ

んっ!?!



タッ



そうだ思えば俺は
お前の過去を
何も知らんからな

今日は追及の手を
緩めんぞたっぷり
昔話を聞かせてもら...

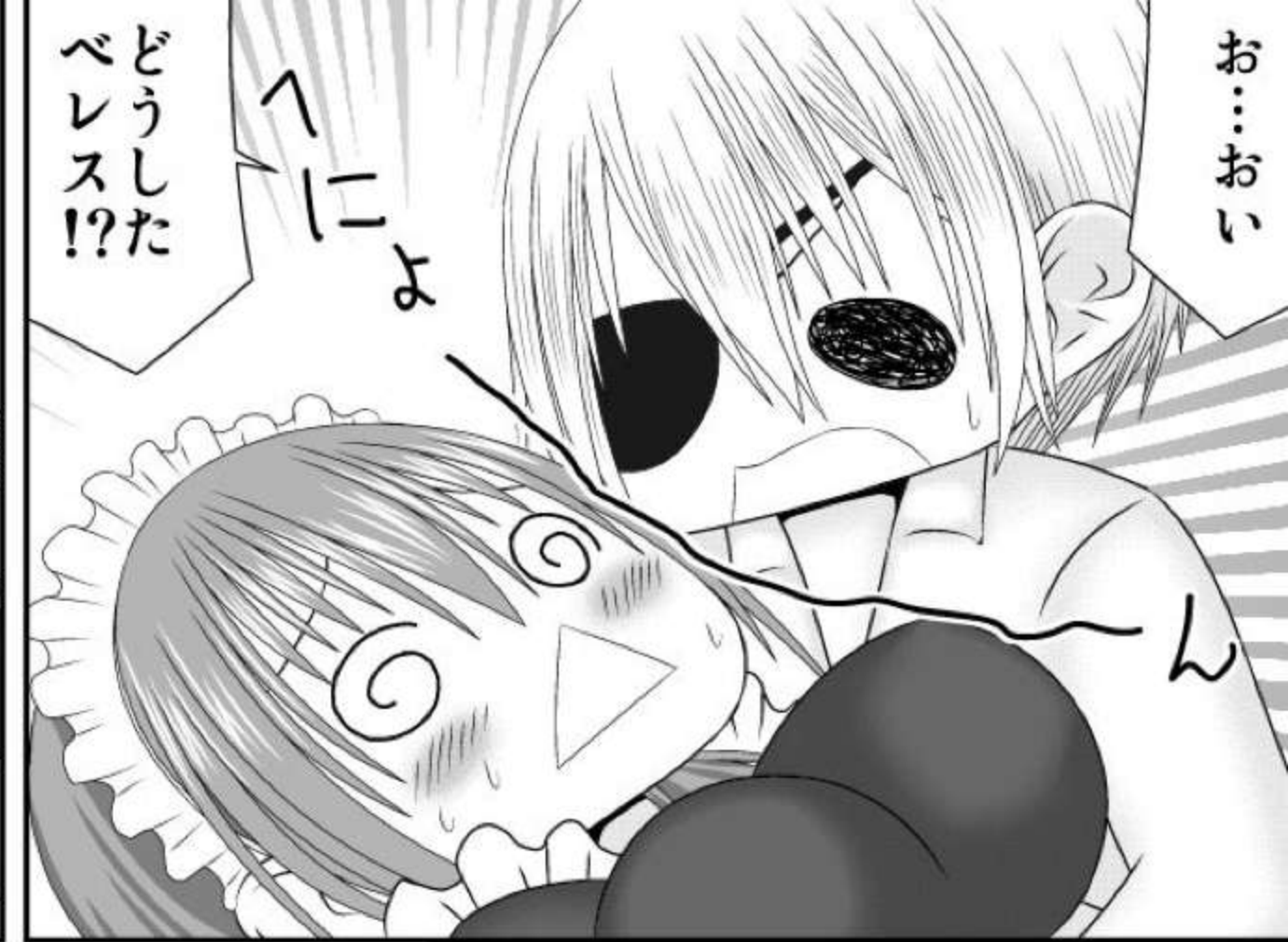
!?!

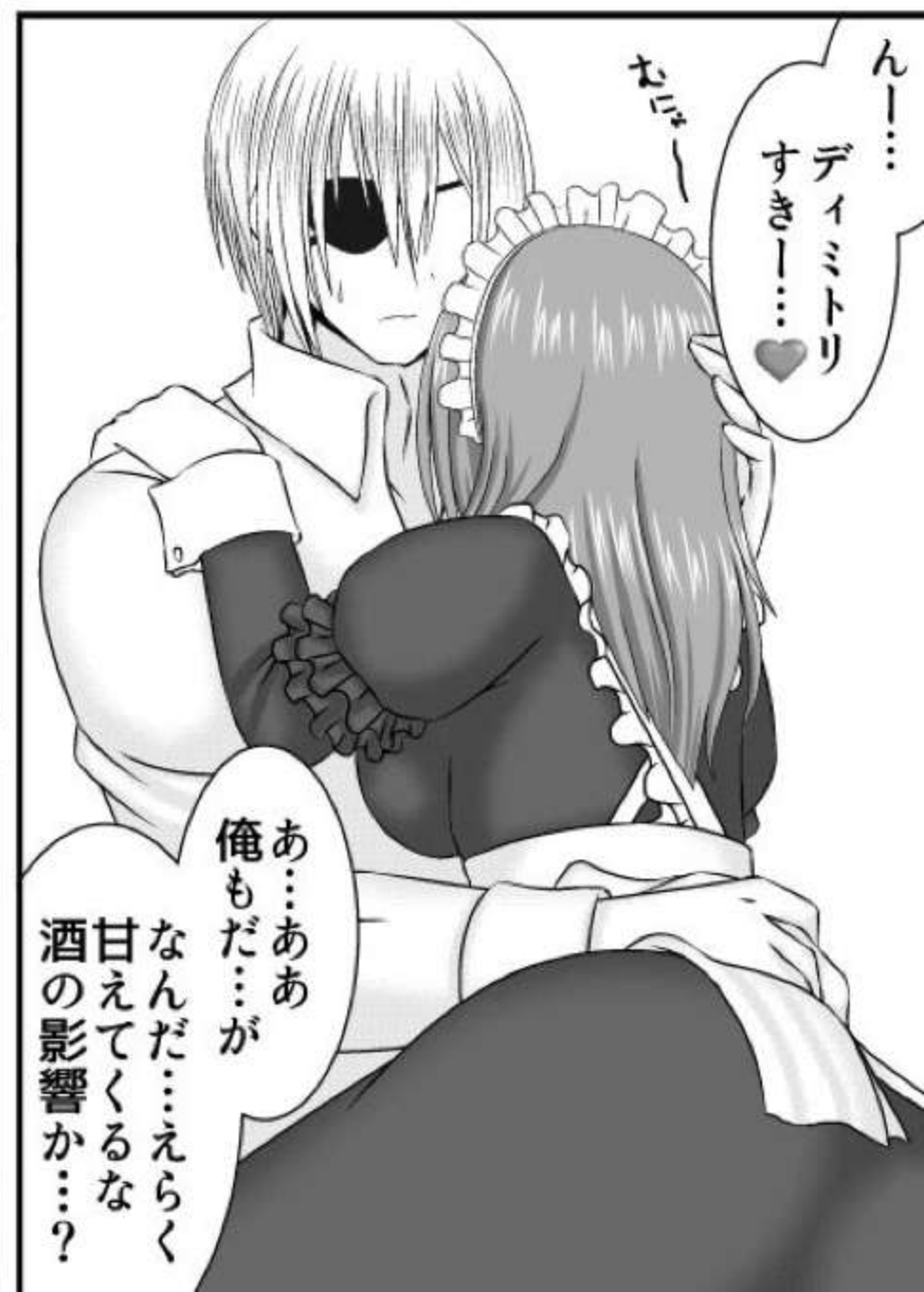


ふはっ
ゲホッゲホッ
何をするんだ
デイミトリ!

ふ...それは
俺の台詞だ

俺を潰そうと
してもそうは
いかんぞ...!







んらもう
なんだえらく
開けづらいな...

お...おい

ちよっと待
...!



おや...? 今
このあたりで何か
動いたぞう

何か隠しているない?
危険物だといけない?
出さなさい早く

えっ

あいや
それは...



わわっ!?



ん...?

私のせいだと
言いたいのか
不良キングめええ

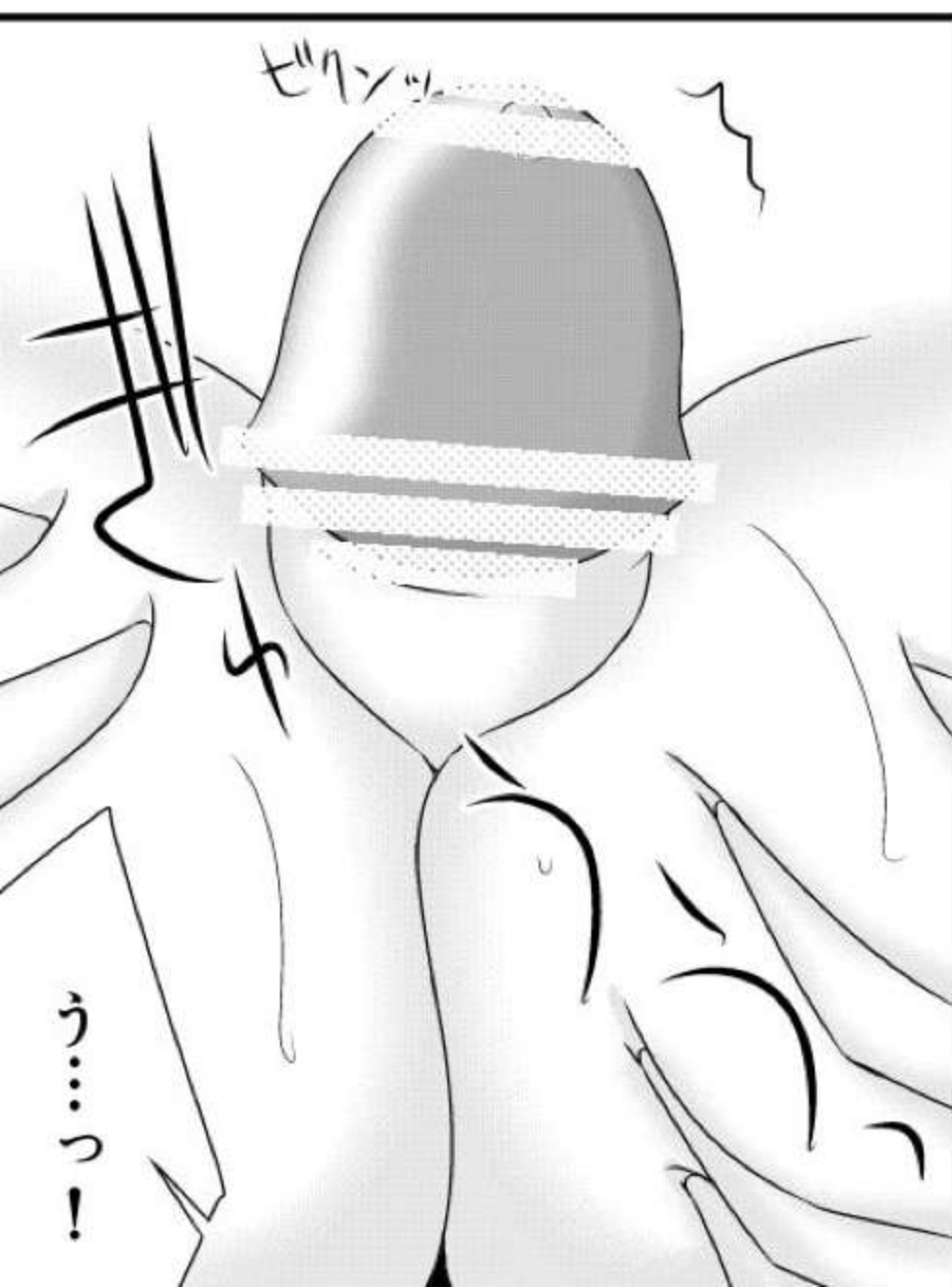
何なんだ
不良キングって



どうしたんだ
こんなに大きくして

むっ...さては
いやらしいことを
考えていたな〜?

...
誰のせいだと
思ってるんだ



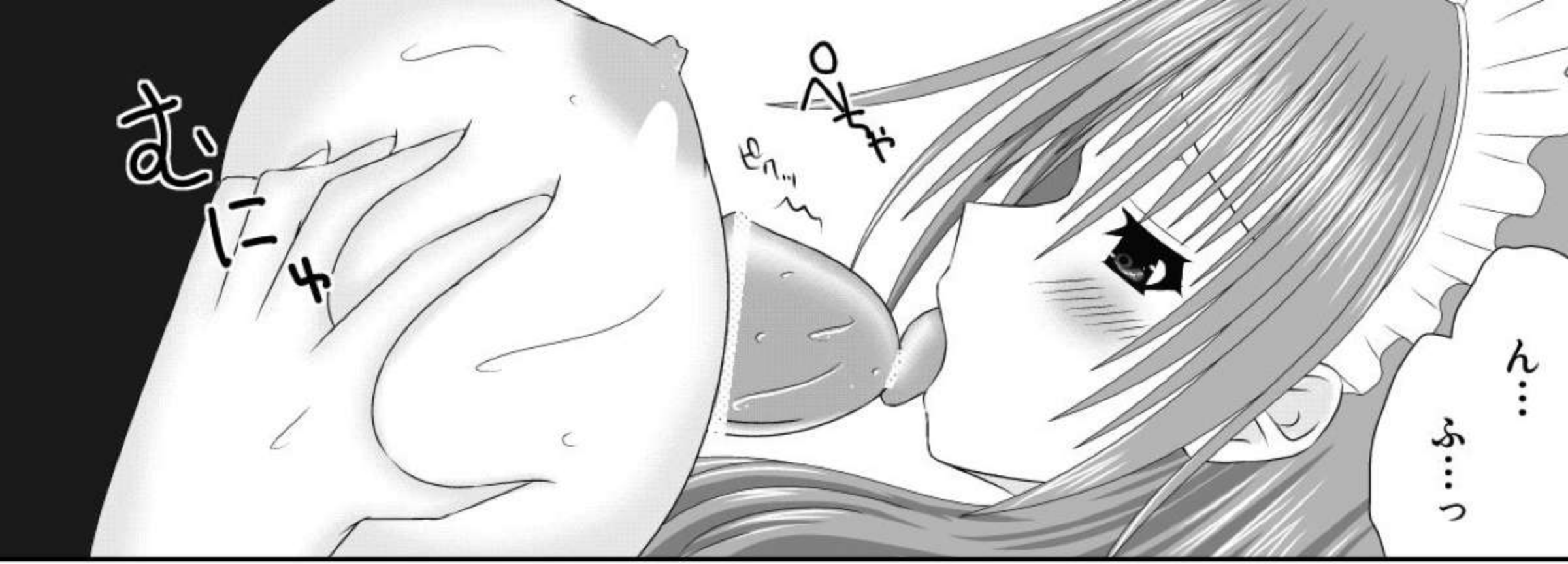
ゼンツ

う...っ!

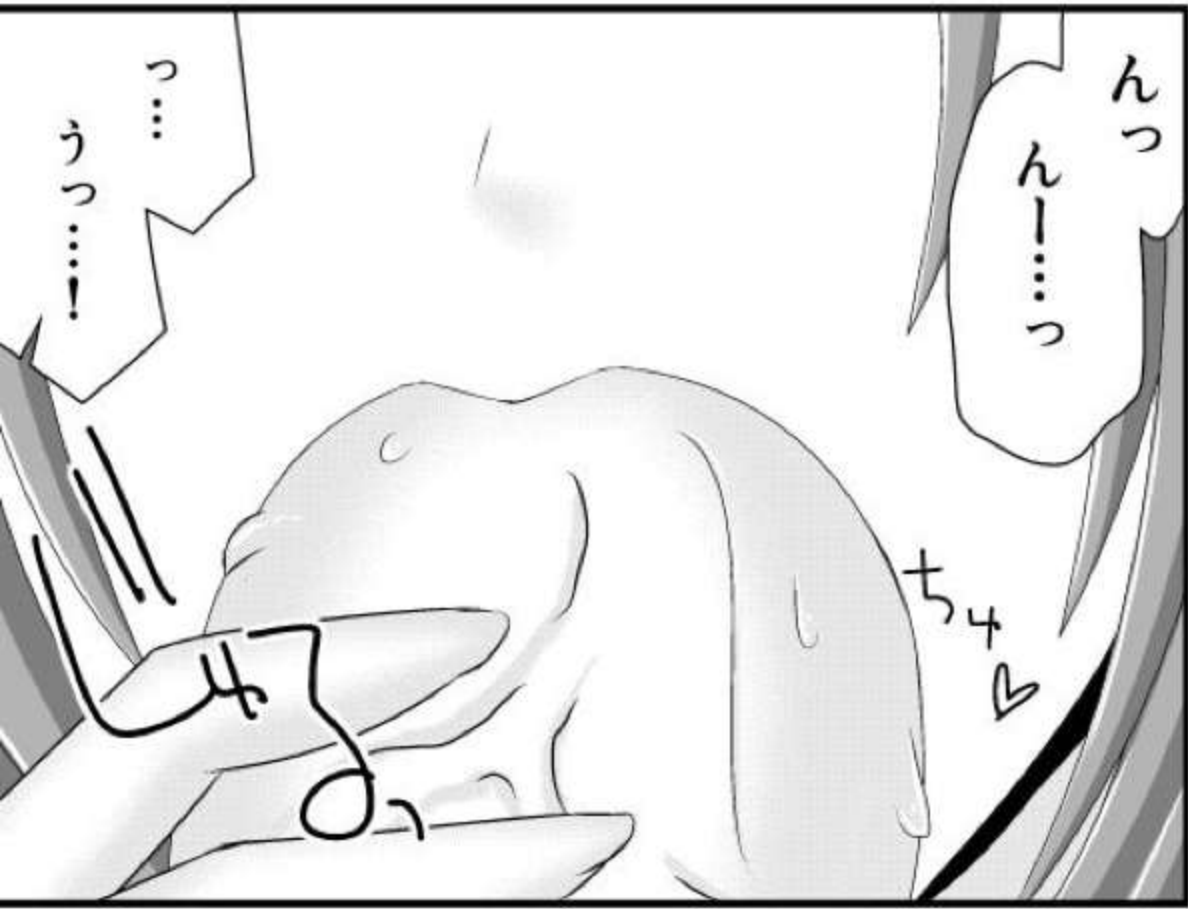


口ごたえばかり
する生徒は

こうして
やるからな〜...

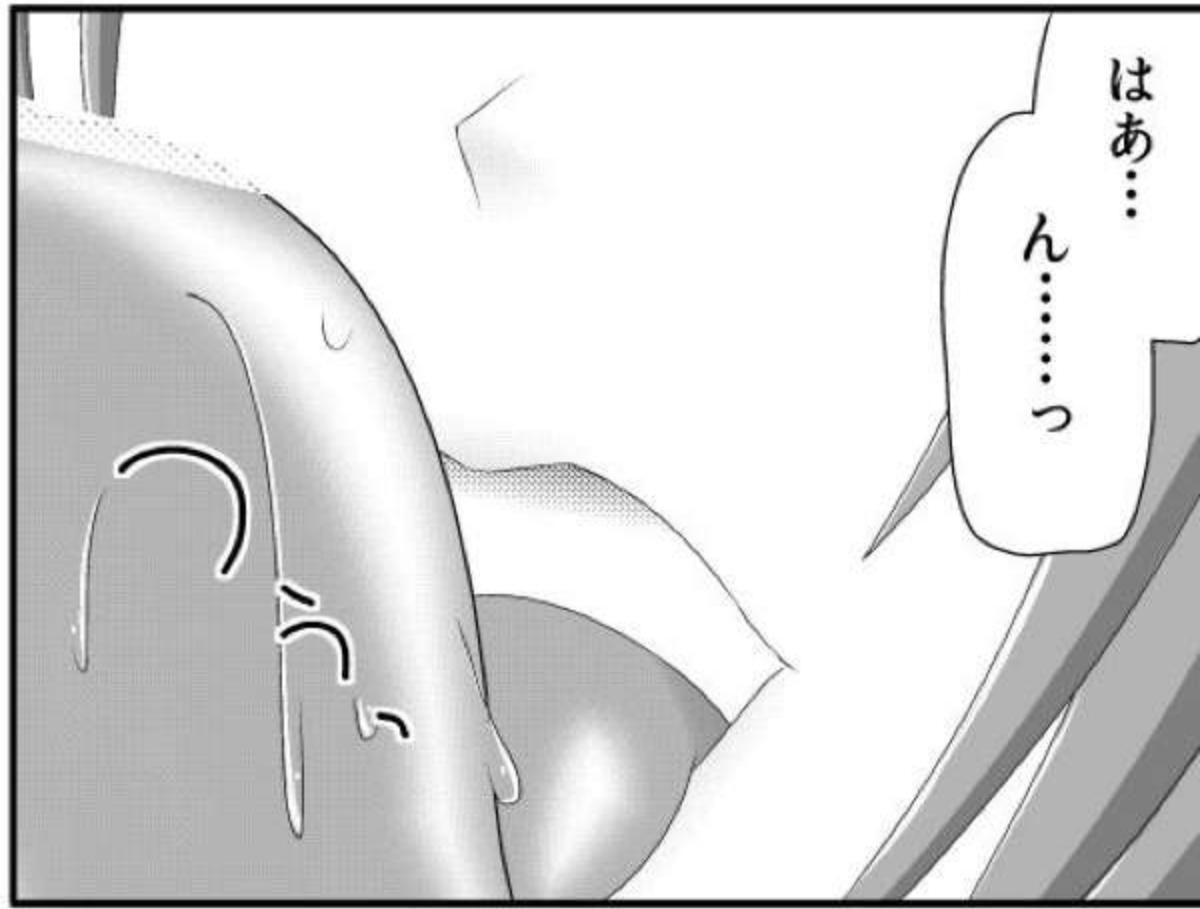


ん...
ん...

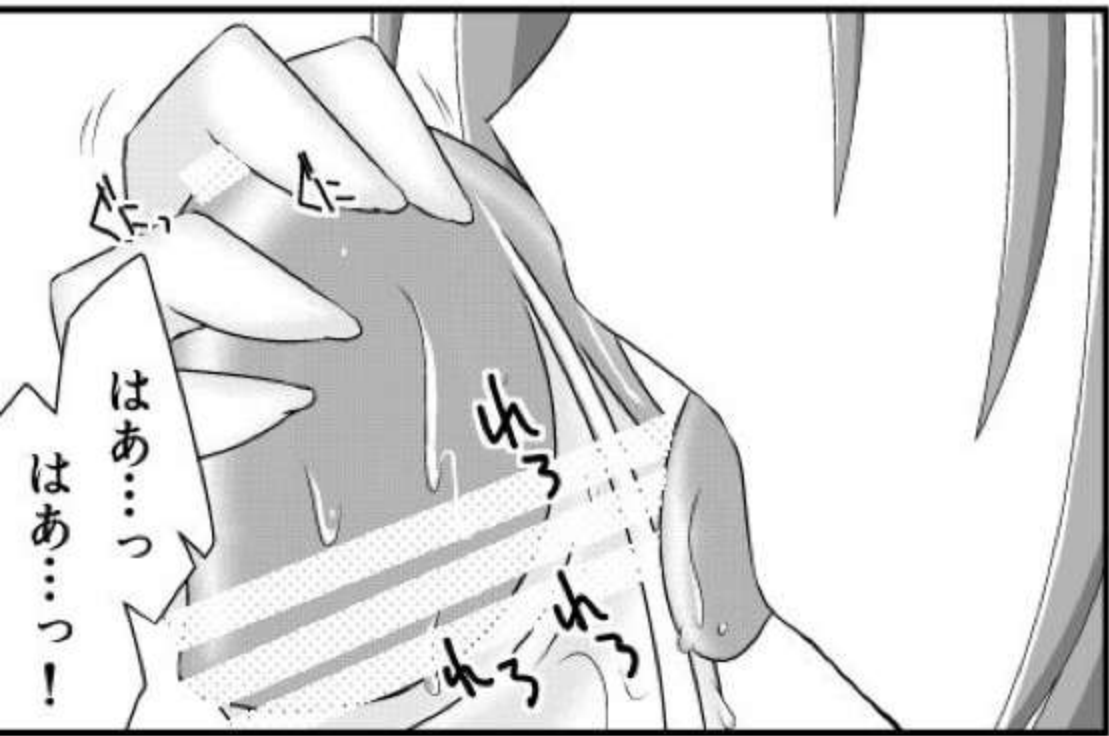


うっ...!
うっ...!

んっ
ん...っ



はあ...
ん...っ



はあ...っ
はあ...っ!

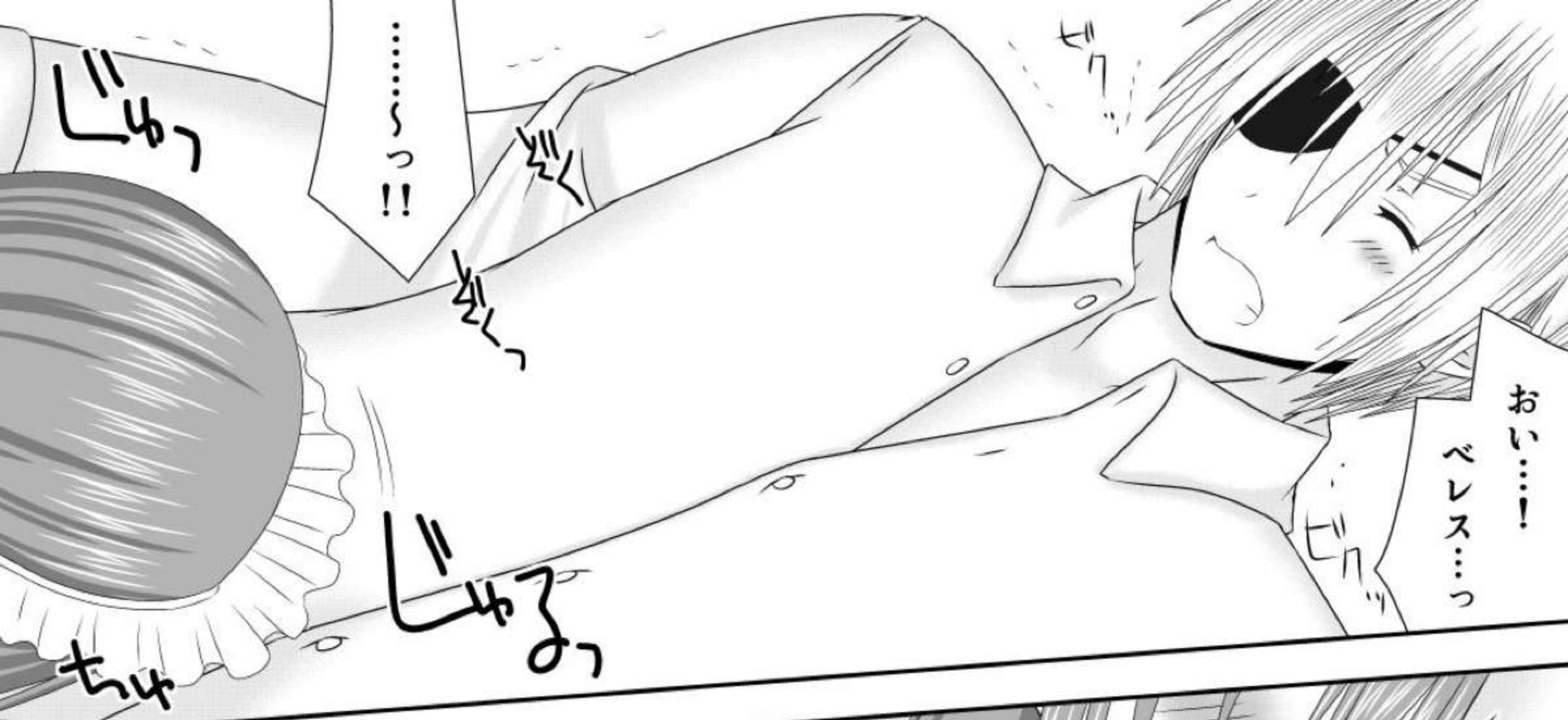


お...おい
お...おい

待て...っ!
そんな...
いきなりは...!



うっ...っ
くう...っ!



おい...!
ベレス...っ

.....っ!!

ちゅ

ちゅ

ちゅ



う...っ

.....!

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

.....!!
もう...!!



くう...う...!!

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ



嬉し...♡

出た...? :いっばい

あ...ああ おかげさまで... :と云ったらいいのか?

ちよ... ちよっと 待て!!

じゃ私は 寝るから...

やられっ放しでは 済まさんぞ

まだまだ付き合っ てもらおうからな!!

あ...!!

あ

ふっ…なんだ
俺のを舐めながら
随分濡らしていたら
ようだな？ 変態め

ん…
それは…

待っている
今すぐ仕置きを
してやるからな…!!

え…
…でも
さっきたくさん
出したんじゃ…

フアーガス王を
侮るな

連戦くらいだ
容易いことだ
…!!

ぐわんや…

えっ…あ

ちよっ…!!

待っ…
あつ

あまあまあま
あまあまあま
あまあまあま
あまあまあま
あまあまあま

まじ
まじ

まじ
まじ





ベレス…っ！



く…っ
…まだ…
気をやるには
早すぎるぞ…



は…



ほう？人には
やりたい放題
やっておいでか？

却下だな…！！



はあ…っ
ディミトリ…っ

ちゅ



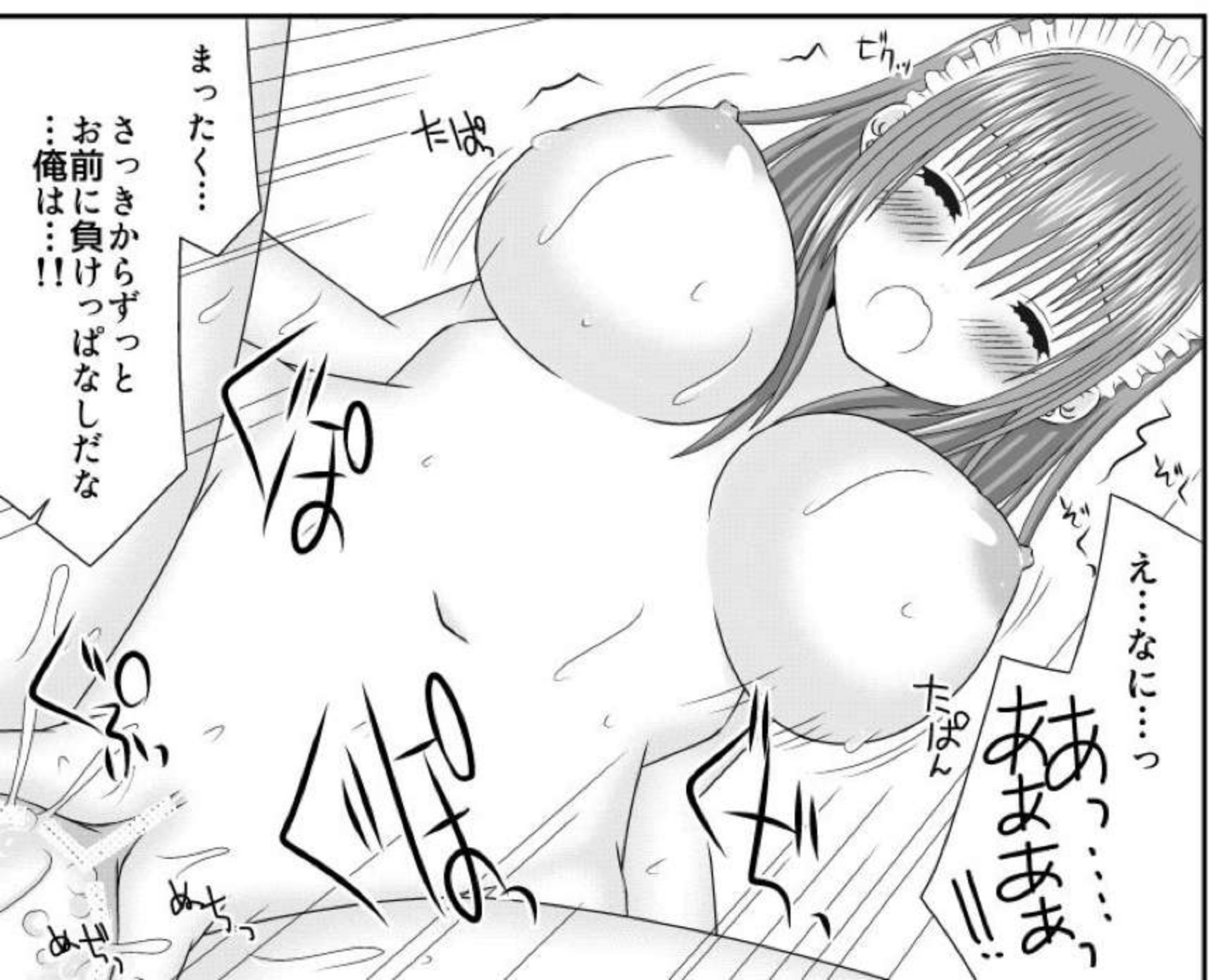
ん...
もしかして
嫌だったのか?

ん?...別に
嫌だったわけでは
ない...
なんだ...?
調子が狂うな...



良かった...♡

そうか



まったく...
さっきからずっと
お前に負けっぱなしだな
俺は...!!



え...なに...っ
お前...っ!



あぁっ♡

ふぁあぁ...あぁ♡



あぁんっ♡
はぁ...あぁ♡



手荒にされて
感じているのか？
ふっ...さっきまでの
威勢の良さは
どうしたんだ？ん？

んっ♡
んっ♡
んっ♡



デイミトリの...

もっとな...
欲しいのお...っ♡

あぁ...っ♡
あ...いい...いい...っ♡
もっとな...
...して...っ♡



あっ
デイミトリ
...っ！

何だ？
この期に及んで
まだ文句を言...

はっ



もういい
俺の負けで
いいっ…!!



…っ…
お前な…っ！
俺がお前に負けたくないように
色々と言葉責めその他
どれだけ頑張ったと
思ってる…あー!!

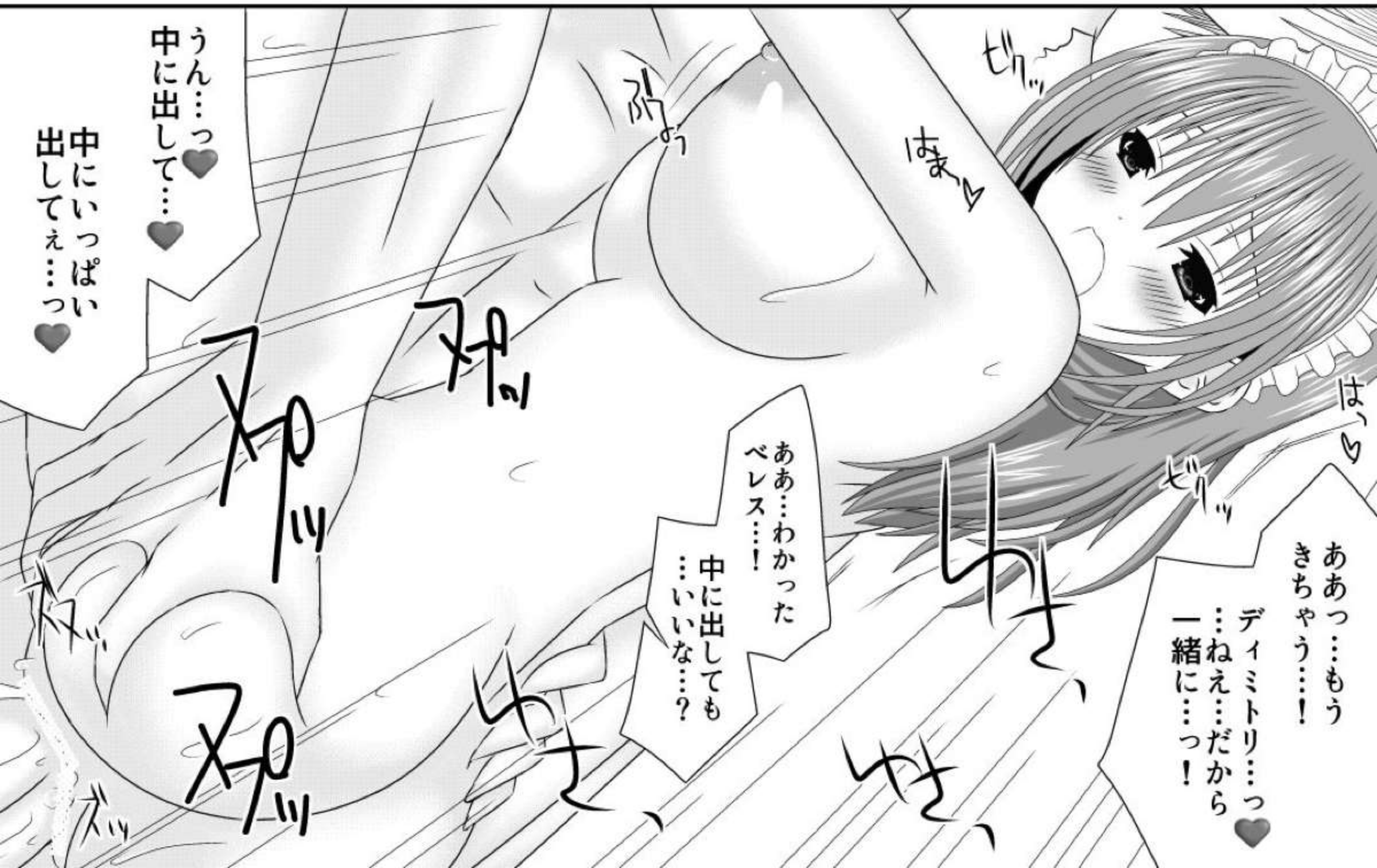


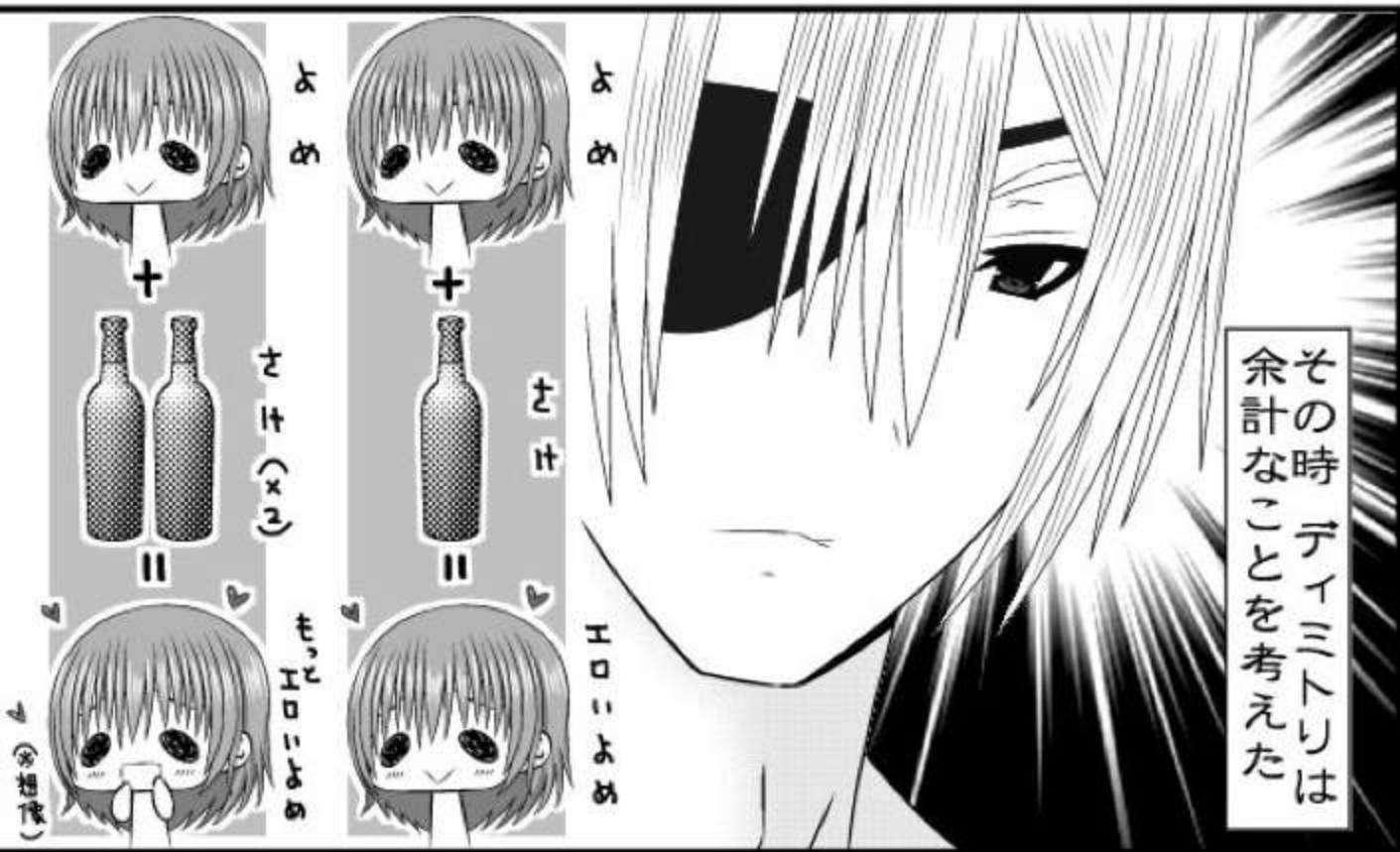
くう…っ
絡みついで…
凄いな…
…食い千切られ
そうだ…!!

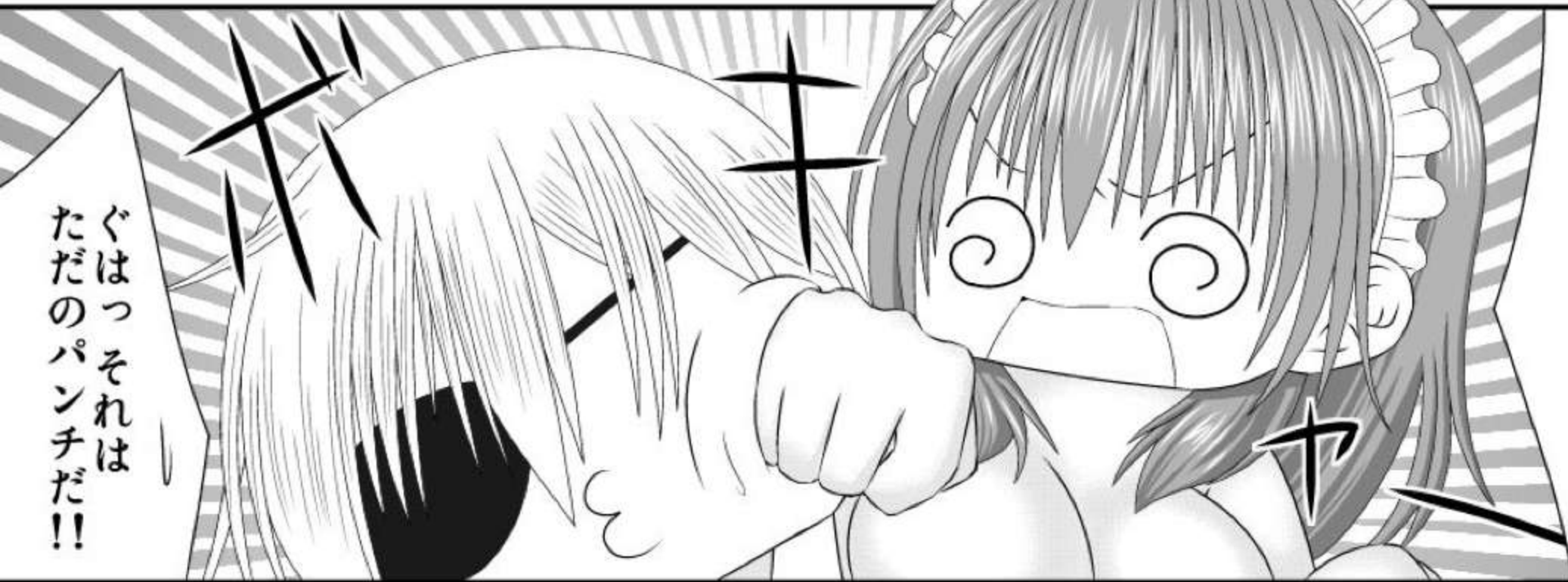


こんなことですぐ
余裕を失っている間は
俺は一生お前には
勝てないのかもな

…だが…それも
悪くはないな…！







レーザー
ブレード!!



ええーい
しぶとい奴め
シャイダー
ブルーフラッシュを
喰りやええい!

うぐううっ!!
それもパンチだ
ベレス!!
ギヤツやめろ
そこを引っ張るな
もげるから!
もげる!!
うわああああ!!



おわり。

令和元年の年の瀬も滞りなくエロまんがで締めくくりです。皆様のいがお過ごしでしょうか。

今回はオリジナル設定としてお酒に弱い先生を描いてみましたが、お酒に強い蟒蛇先生も良いなあと思ってけっこうシチュエーションは悩みました。これで良かったのが不明ですが、描いている私はすごく楽しかったです。

今後のこのシリーズですが、とりあえず暫くは殿下がメインになる……？と思われます。やっぱり殿下を描いてと言われることが多いので。あとはシルヴァン君も割と。個人的には一回フェルティナント君を描いてみたいのですが、絶望的なほどにはんも話が思いつかないので夢と消える可能性が高いです。あの髪を描く時のたうち回りそうですし……。まあとにかく「ゆがいは仲間」シリーズと並行してエロもちよこちよこ続けていきたいです。

ところで皆様がこれを読んでくたさっている時はもう令和二年がと思われます。今年も頑張りますのでどうぞよろしく願いいたします。次回も頑張ります。

織田夏樹

あんどふんが

